

## 天理よろづ相談所病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。  
 本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。  
 お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。  
 また、この研究は当院の研究倫理委員会の審査を受け、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	肺葉切除術後の残存肺の代償性膨張の量的・質的評価に関する後方視的観察研究
当院の研究責任者（所属）	麻酔科 中平淳子
本研究の目的	肺の手術の中で、肺葉切除術を受けられた患者様を対象とする観察研究です。CT画像の解析によって、術前と手術から1年後および2年後の肺容量の変化を調査します。さらに、低吸収域と高吸収域の肺容量、低吸収クラスターのサイズと数を評価します。これにより、術後の残存肺が代償性に膨張するのは、気腫性病変の拡大によるものなのか、正常肺野に近いものなのかを判定します。
調査データ 該当期間	西暦2018年1月1日～西暦2023年6月30日までの間に当院呼吸器外科で肺葉切除術を受けられた患者さん
研究方法 (使用する試料等)	<p>■調査対象となる患者様 上記期間に当院呼吸器外科で肺葉切除術を受けられた患者様</p> <p>■使用する情報 診療記録、検査データ、画像検査結果等</p>
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はない
個人情報の取り扱い	<p>研究に利用する試料や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。</p> <p>将来、この研究で得られた情報も別の研究に利用（二次利用）する可能性があります。その場合も個人を直ちに判別できる情報を出すことはありません。二次利用する場合は、その研究計画について改めて研究倫理委員会及び研究機関の長の承認</p>

	を得て実施となり、その内容は参加機関のホームページ等で公開されます。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。利益相反については、当院の利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。
研究期間	病院長承認日 ~ 2027年12月31日
お問い合わせ先	天理よろづ相談所病院 麻酔科 電話：0743-63-5611 (代表) 研究責任者：中平 淳子